



市役所本庁舎前の駐車場出入口

道 路

防 災

東京外郭環状道路用地交渉

市役所本庁舎前の道路

小学校避難拠点運営委員会の設立

障がい者の避難支援訓練

鈴木啓一議員(市民の声)

東京外郭環状道路建設は、供用開始を目指し工事が進んでいる。しかし、一方でいまだに未買収地がある。こ

地権者に説明不足等 誠実な対応を 理解得られる丁寧な対応等に要望

これは単に地権者が反対しているのではなく、説明不足など国の対応に原因がある。地権者は再三に渡って国との話し合いを要請したが、

が明かない。土地収用法

ありきの姿勢は強引であり、市は誠実な対応を国に強く要望すべきである。

平成27年度末の全線開通に向け、事業を進めている。用地取得については、土地収用法手続を第一とせず、任意の話し合いの中で地権者の理解と協力が得られるよう、丁寧な対応を国等に要望していききたい。

加藤武史議員(自由クラブ)

市役所本庁舎前、国道14号における交通事故が、平成19年9月から数件発生している。解決策として、駐車

横断する市民の安全確保を 押しボタン式信号機と横断歩道設置

場出入口と並ぶ歩道レーン等を左折車専用出口に整備して右左折2車線にし、隣接する千葉コービーセンター脇に歩道を移設すれば、市民の安全が確保できる。以

て移設していききたい。

前に質問した横断歩道の新設と合わせ、考えを問う。

答 要望の市役所前バス停脇への押しボタン式信号機と横断歩道の設置は、県警から予算が確保されている旨の回答を得ている。右左折レーンの設置は検討となるが、歩行者レーンの設置は、横断歩道の設置に併せて移設していききたい。

堀越 優議員(公明党)

市民が安全で安心して暮らせる街づくりを実現するためには、防犯・防災対策の推進や大地震の教訓を生

市民との取り組みが重要 進捗状況は コミュニティサポート委員会等で説明

かした市民との取り組みが重要な課題となってくる。防災対策として現在進められている、小学校避難拠点体制整備の進捗状況を問う。

答 小学校避難拠点体制づく

りのため、小学校初動配備職員の指名と研修会を実施した。また、各小学校のコミュニティサポート委員会等に説明し、協力を依頼している。避難拠点運営委員会の設立を希望する学校で委員会の立ち上げを行い、委員会を主体とした避難所運営などの防災訓練の実施を進めていききたい。

宮本 均議員(公明党)

障がい者などの災害時に支援を必要とする災害時要援護者に対しては、避難支援訓練は重要であると考え

今後どう取り組んでいくのか 防災訓練に取り入れるよう提案

る。市として、今後の取り組みについて、どう進めていくのか。

答 市では、平成21年度から小学校避難拠点の体制整備を進めている。今後立ち

上げる小学校避難拠点運営委員会による防災訓練などで、災害時要援護者の支援訓練を積極的に提案していきたい。

また、障がい者団体などと災害時に支援がスムーズに連携して行われるような体制づくりについて、担当部署も交えた話し合いや検討を行っていききたい。

自然・環境

文化・スポーツ

ごみゼロ宣言

真間川左岸沿いの遊歩道

千葉国体 ハンドボール競技

北下遺跡

かいづ 勉議員(道)

年間のごみ処理費用は約62億6千万円で、市民一人当たり約1万3千円の負担となっており、ペットボト

次期環境基本計画に反映していく 環境市民会議の提案受けどう対応

ルの処理費用は年間約4億9千万円も支出している。環境市民会議の提案を受け、特に、マイバッグ、マイボトル等を推奨し、「ごみゼロ宣言」すべきではないか。

答 環境市民会議からの提案は、ごみの12分別、エコライフ推進員制度創設等本市の環境施策に反映されている。第6期となる今回の環境市民会議から提案された、「ごみゼロ宣言」をはじめとする持続可能な社会のための市民提案については、次期環境基本計画に反映すべく準備を進めている。

桜井雅人議員(日本共産党)

真間川左岸沿いの遊歩道の敷石にがたつきが目立つ。遊歩道整備についての市の考えを問う。また、ベビ

がたつきの敷石 不良箇所の敷石を除去し補修

カーの親子連れやシルバーカーの高齢者は敷石の遊歩道を歩くのが困難なため、車道の端の路側帯を歩いているが、道幅が狭く危ない。歩行者の安全対策は考えら

れないか。

答 職員等がバトロールし、危険な場所を発見した場合、不良箇所の敷石を除去して整地するなどの補修を行っているが、早急に調査し対応していききたい。また、がたつきの敷石の改善や足元の低木を刈り込みするなど、出来る限り歩行空間の確保に努めていく。

湯浅止子議員(社民・市民)

平成22年9月開催の千葉国体において、本市はハンドボール競技会場となる。ハンドボール競技への関心

子供達が試合観戦するための費用は 学校から会場までのバス輸送を計画

を高めるため、小中学生にふる手づくりの歓迎のほり旗を作成すると聞く。作成の費用負担と旗の活用方法を問う。また、子供達が試合から会場までは無料のバス輸送を計画している。

と費用はどうなるのか。

答 参加47都道府県の選手を応援するため、のほり旗を作成する。費用は市が負担し、学校で育てた花の鉢植えと一緒に、競技会場に飾る予定である。また、トップレベルの試合を多くの子供達が観戦できるように、学校から会場までは無料のバス輸送を計画している。

清水みな子議員(日本共産党)

国の文化審議会が下総国分寺跡北下(つけたりきたした)瓦窯跡を国の史跡に追加指定するよう、文部

検討委員会が必要ではないのか 県が立ち上げるので検討したい

科学大臣に答申をした。北下遺跡の価値と重要性について問う。また、遺跡の保存方法や市民への公開等について、専門的な意見や知見を集めた検討委員会の立

ち上げが必要ではないか。

答 北下遺跡の窯跡は下総国分寺を考える上でも、重要で価値が高いものである。本市は追加指定地の所有者ではないが、市内にある遺跡なので、市に一定の権限や責任が生じると考える。県が保存管理計画の段階で委員会を立ち上げるので、本市でも検討したい。